

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交通一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



建交労



2025年12月10日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2025年秋季年末闘争No.16

2025年度推進ニュース⑥通算397

発行責任者 小島 茂

平和といのちと人権を守る12.8川崎集会！

12月8日「平和といのちと人権を守る12.8集会」が18時から川崎区内の稲毛公園で開催されました。日本共産党の畑野君枝前衆院議員は連帯あいさつのなかで「12月8日は太平洋戦争が始まった日です。高市首相は軍事費を増強し今後さらに増やそうとしている。その一方で社会保障費が削減されている。断固反対しなければならない」と訴えました。集会後は平和憲法を守ろう！排外主義は許さない！などのシュプレヒコールを響かせJR



川崎駅前まで行進しました。この日の参加者は全体で130名、神奈川県南支部からは合同分会の宮田組合員と金崎の2名が参加しました。

記事と写真は金崎書記長でした。



争議解決求め12.9JAL本社大包囲行動

日本航空が「モノ言う労働者・労働組合員165名のパイロット・客室乗務員」を狙い撃ち解雇予告通知を送りつけてから丁度15年の12月9日、被解雇者が納得できる早期全面解決を迫るJAL本社大包囲行動が実施されました。本社前には、主催者のJAL争議団と今年5月に発足したJAL争議支援全国ネットワークをはじめ争議の早期全面解決を求める全国の労働組合・民主団体・平和団体・個人・政党などが結集し熱気に包まれました。連帯・激励の挨拶では立憲民主党、共産党、社民党、れいわ新選組の国会議員、立憲民主党茨城県議と全国ネット「北海道・福島・群馬・埼玉・神奈川・静岡・愛知・京都・徳島・福岡」代表がそろって【JAL争議は経営陣の乱脈・放漫経営が招いた『経営危機』を経営再建の名を借りて2010年の大晦日に強行した人権侵害・労働組合つぶしの不当解雇】であることを告発し早期の全面解決を求めました。また、JAL被解雇者労働組合（JHU）の山口委員長と乗員争議団の近村団長は「頻発する事故や不祥事の根絶などJALの社会的責任をはたすには鳥取社長以下経営陣が直ちに争議の全面解決を決断する以外に道はない」と訴えました。神奈川県南支部からは金崎書記長と赤羽が参加しました。

